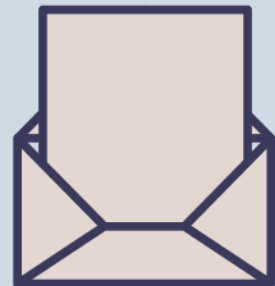
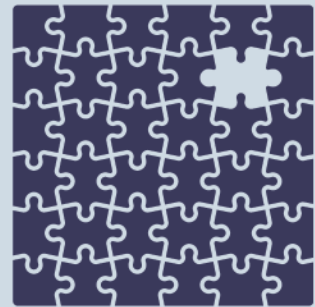


日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

教団資料室

ご協力のお願い



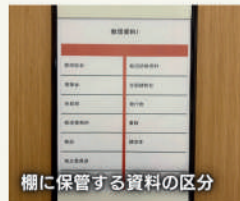
教団資料室が発足しました！！

本部棟1Fに資料室が！！

本部棟1Fに教団の歴史資料室ができました！教団、各部・委員会、教区、教会の様々な資料が保管されています。教団の歴史が詰まった一部屋です。



歴史資料室の扉



棚に保管する資料の区分



分類ごとに段ボール保管



教区毎に記念誌を保管



教会の報告資料



棚は中央6面、壁面6面



教団本部の写真アルバム



教団の部・委員会の資料

沈黙（空白） ミッシングピース

大切なミッシングピースを見つけるために、
教団関連資料の発掘と収集にご協力ください！

記録していない
記録を処分した(意識せず or 意図的に)
記録はしまっている(開示したくない)

- 音声・映像資料
- 書籍
- 聖書学校・神学校記念誌
- 教会誌
- 書簡
- 日記
- インタビュー
- 雑誌
- 記念品・ポスター
- ニュースレター
- 写真
- 説教集
- トラクト
- その他



歴史を知ることとは……

自分たちがどこから来て、今どこに居て、
どこに向かっているか、自分たちは何者であるかを知る作業です。

「上記のように『歴史』には、先ず一次資料の収集・整理、次いでその理解と把握、最後に、それに基づいてさらなる展望を含む記述が不可欠である。

これらは時間を追って、次々と階段を昇降するように展開されるというわけではなく、三つの作業が同時並行的に、しかも当事者が誰であれ、共同体全体の営みとして続けられなければならない。」(p. 29)

出村 彰

「キリスト教史学の展開と展望～戦後の歴史神学をたどりつつ～」『福音と世界』
(2015年7月号、23-29.)

米国アッセンブリー教団本部付属 フラワー・ペンテコスタル・ヘリテージ・センター

博物館と古文書館

1977年古文書館開館、1999年博物館開館、2025年4月休館、2027年に拡大して再開予定



日本アッセンブリー教団



創立30周年記念誌 『御霊に導かれて』(1979)

吉山 宏先生(30年史編纂委員長)

「委員たちは、日に夜をついで働かざるを得なかった。」(p.229)

『御霊に導かれて』30年史(1979年)吉山 宏先生

「残念ながら、戦前の資料は十分に集められなかったのが実情で、時遅しに失った感がしないでもなかった。」(p.229)
「ことに、**現存者のいる中での歴史編集は至難のわざ**であるが、ベストを尽くすようにと激励しつつ、ご協力を下さった名誉総理弓山先生にお礼を申し上げたい。」(p.230)

徳木力先生(尾崎教会)が三十年史編纂委員会に送った証詞の草稿と書簡からの抜粋

「証詞から」

教団が結成三十周年に至ったが、主の導きは奇しくある。教団の結成以前からの教職が十名で、その内の召天者が三名だと私は思う。教団史には載らない忘れられた存在だろうが、九十余才に至る迄伝道した方がいる。その方を援けて来た私と机を並べて勉強した人がいる。現在の教団を樹に譬えるならば、それがあったゆえに**今日があり得るが、多くの方々に知られていない、根たる部分がある**。尾崎教会と私は枝たる部分、而かも他の枝の陰にある、細い枝である。

「書簡から」

私の考いでは、アッセンブリーは一つのものからの発展ではなく、他のものの力があって、今日があり得たと思います。編集に顧問とて長島師を加えた 如何でしょうか。それは古い事を知っておられるからです。昭和の初めに**ベンダー師夫妻や、マクノートン(函館教会の開拓者)その他の方々が居られました**。外伝になりますが、**神戸のテーラー師**は神戸で大きく奉仕しておられました。また以前、長崎で中田重治師と張り合ってペンテコステの信仰のあかしをして来られたと聞きます。**京都のスミス師**などは送金がなく生活に困窮し、電車切符で米屋に米を求めて行ったそうです。私は助けられた事があります。**小川 裕師**は外伝ながら我らの誇りとすべき方です。



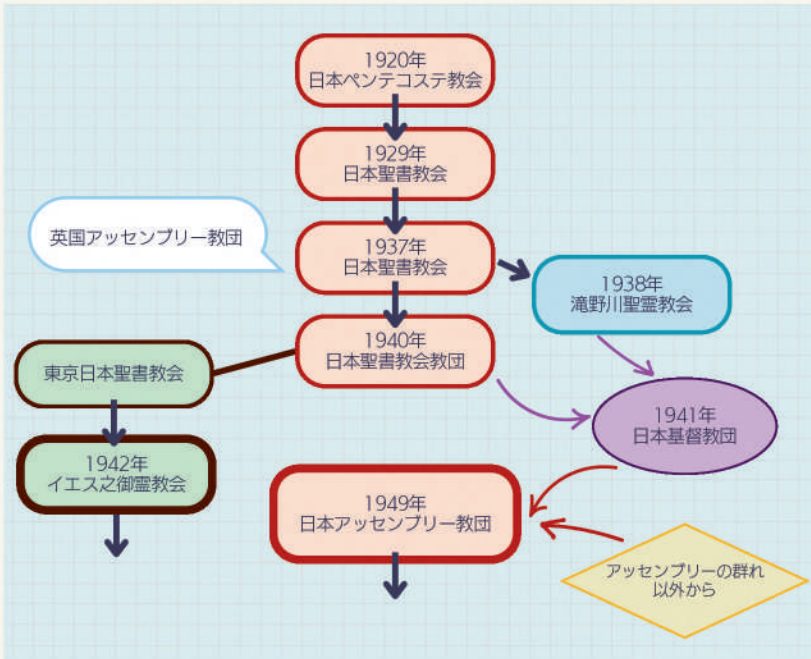
創立50周年記念誌 『みことばに立ち、御霊に導かれて』(1999)

『みことばに立ち、御霊に導かれて』50年史(1999年)高口喜美男先生

「50年史においては、全委員の検討に「よって30年史の歴史的叙述に手を加えた。」(p.52)
「**歴史を活字化することの難しさ、いや『こわさ』を克服することはできませんでした。**」(p.512)

アッセンブリー教団の歴史

【教団史略図】



1920年

米国アッセンブリー教団日本支部創立総会



〔Pentecostal Evangel (1920-11-13), 9〕

前列左から：アレックス・モンロー、カール・ジュールゲンセン、
 ジョン・ジュールゲンセン、バーニー・モア
 後列左から：エスター・ジュールゲンセン、フレデリケ・ジュールゲンセン、
 アグネス・ジュールゲンセン、マリア・ジュールゲンセン、
 ジェシー・ウエングラー、ルース・ジョンソン、
 メアリー・モア、グェンドリン・モンロー

1929年3月

日本聖書教会設立予備年会 滝野川教会
 (現 神召キリスト教会) にて



『後の雨』創刊号 (1929年6月1日)、2.]

前列左から：グェンドリン・バース、ジェシー・ウエングラー、
 坂本キミ、グレイス・ジュールゲンセン、
 フレデリケ・ジュールゲンセン、メアリー・テラー、
 ハリエット・デスリッジ
 中列左から：ノーマン・バース、3人おいてアグネス・ジュールゲンセン、
 マリア・ジュールゲンセン、フローレンス・パイヤス、
 ネディ・グライムズ、ゴードン・ベンダー、
 後列左から：横井憲太郎、中山萬吉、谷力、鈴木仙之助？、
 ジョン・ジュールゲンセン
 (カール・ジュールゲンセンとアンITA・ベンダーは欠席)

戦前の日本アッセンブリー教団の群れと機関誌

年	教団	機関誌	
1920	日本ペンテコステ教団		
1921			
1922			
1923			
1924			
1925			
1926			
1927			
1928			
1929	日本聖書教会	『後の雨』誌	
1930			
1931			
1932			
1933			
1934			
1935			
1936			
1937			
1938			
1939		滝野川聖霊教会	『永遠の御霊』誌
1940			
1941		『聖霊』誌	
1942	イエス之御霊教会		
1943	基督教日本		
1944			
1945			



『後の雨』誌



『永遠の御霊』誌



『聖霊』誌

荒廃の中から

長後聖会の教職と信徒リーダーたち
【1947年10月】



前列左から：栗原？(京都北野)、不明、大地兼香(神奈川長後)、長島ツル(伊茨城関本)、千村(藤井)幸子(神奈川篠原)、中根？(茨城結城)
後列左から：フローレンス・バイヤス(兵庫御影)、黄金井(神奈川長後)、榎本仁助(東京神召)、弓山喜代馬(東京神召)、川崎一(大阪粉濱)、菊地隆之助(静岡浜松)、外山？(茨城関本)、鹿島外雄(大阪粉濱)

米国アッセンブリー教団の
リーダーたちの来日
【1949年1月】



ゲイル・ルイス、弓山喜代馬、ノエル・パーキン

日本アッセンブリー教団創立総会参加メンバー
神召キリスト教会にて
【1949年3月】



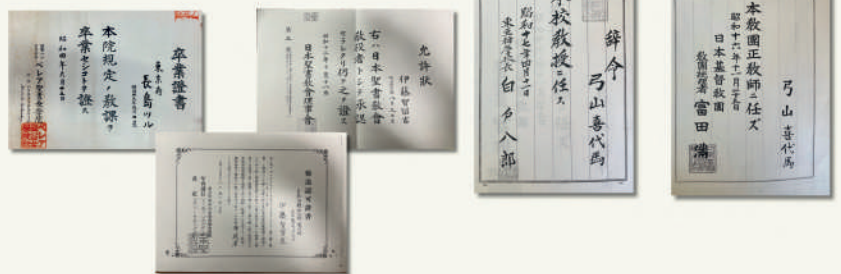
前列左から：大地兼香、坂本キミ、沖千代、長島ツル、伊藤トミノ、斎藤仁男
後列左から：徳木力、アーサー・チェスナット、内村誠一、ジョン・クレメント、弓山喜代馬、フローレンス・バイヤス、川崎一、マリア・ジュルゲンセン、田中篤二、エスター・クレメント、菊地隆之助、マーガレット・カーロー



「発行によせて」『御霊に導かれて』(1979年) 伊藤顯栄先生(教団理事長)

では、そこ(散らされた群れが一つになろうとすること)には何があったのか？
私はそこには筆舌に表せない、不思議な心の一致があり、教団形成の意欲があったと言いたい。それは人々の心を貫いて動き給う御霊の動き、そのものではなかったろうか。凍土の中から新しい息吹が芽生えるように、荒廃の中から、主のみわざが偉大な生命力をもって台頭し、不安と絶望に悩む人々を神の国に導き入れようとする、主ご自身の熱情ではなかったのだろうか。

資料を収集し、保管し、整理し、 利用できるように



- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| 1 細井修一 | 21 榎本仁助 | 41 佐布トシ子(辻) |
| 2 岩井信成 | 22 中川シゲ | 42 津村かほる(吉津) |
| 3 高木日出男 | 23 鹿島外雄 | 43 江草恵美子(弓山) |
| 4 斎藤仁男 | 24 | 44 |
| 5 内村誠一 | 25 山城圭子(萩原) | 45 |
| 6 田中篤二 | 26 マーガレット・カーロー | 46 |
| 7 弓山喜代馬 | 27 ジェシー・ウエングラー | 47 |
| 8 川崎一 | 28 フローレンス・バイヤス | 48 |
| 9 菊地隆之助 | 29 アーサー・チェスナット | 49 |
| 10 金原行雄 | 30 アン・クレメント | 50 |
| 11 坂本きみ | 31 ジョン・クレメント | 51 |
| 12 沖千代 | 32 | 52 |
| 13 伊藤トミノ | 33 | 53 |
| 14 山城晴夫 | 34 | 54 石原美智子(菊地) |
| 15 鹿島トシ子(安藤) | 35 | 55 |
| 16 | 36 | |
| 17 | 37 | |
| 18 | 38 | |
| 19 | 39 | |
| 20 | 40 | |

ご協力のお願い

※各教区・教会で記念誌を発行されている場合は、
教団本部宛てに2部送付してください。
歴史資料として、大切に保管させていただきます。
皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。



記念誌以外の資料について

記念誌以外で、後世まで残しておきたい資料かもしれないが、教団資料室に送付すべきか迷いましたら、遠慮なく、以下まで お問い合わせください。

教団資料室立上げメンバー

- 日吉 成人（北見神愛キリスト教会・紋別神召基督教会：資料室委員長）
- 林 由佳（結城基督教会）
- 鈴木 正和（水場キリスト教会：教団史編纂委員）
- 金木 直子（神召キリスト教会：教団職員、資料送付先）
- 富山 均（十条キリスト教会）
- 三箇 義生（郡山キリスト教会：アドバイザー）
- 岡本 仰（小岩栄光キリスト教会：アドバイザー）



教団50年史の無料頒布について

『教団75年史』の発行に際し、教団創立50年時に発行された『教団50年史/日本語版・英語版』を無料頒布(送料のみ自己負担)することとなりました。希望される方は、AG福音出版までお問合せください。また、全国聖会の会場でも無料頒布しております。地下1階AG福音出版、または教団資料室準備委員会のブースまでお越しください。



函入り・クロス装・上製本/513頁

頒布価 2,500円のところ今回無料で頒布いたします！

※教団内の場合、

教会を通してお申し込みください。

※申込先：担当(渡辺) y.watanabe@ag-j.or.jp

送料のみご負担ください。

冊数によって異なりますが、レターパックプラス(600円)、または、宅配サービスの着払いでお送りします。

『75年史』と『50年史』は、それぞれ異なる視点と編纂方針でまとめられています。『50年史』は、今なお色あせることのない価値を持ち続けています。ぜひこの機会に2冊そろえてみませんか。

全国聖会会場でも頒布しています。地下1階のAG福音出版のブースに、ぜひお立ち寄りください！

通常1冊 3,000円 (送料込み)
教団内 1,500円 (送料込み)

※教団内の場合、教会を通してお申し込みください。
※申込先：担当(渡辺) y.watanabe@ag-j.or.jp

教団ニュース アssenブリー News ■第842号2025年11月1日発行

教団75年史 完成！

—教団75年史編纂委員会—



教団75年史編纂委員長
大津キリスト教会(滋賀県)
野口一郎 Ichiro Noguchi



教団75年史/表紙

【つい完成です！】
「神の業を覚え、感謝し、奮い立つ…御霊に導かれ、教団75年史」がついに発刊の運びとなりました。今月の教団総会の際にお披露目となります。75周年にあたる2024年末までの歴史を記し、今年5月発刊予定でしたが、校正作業などに多くの時間を費やすことになり、結果的に半年遅くなってしまうました。しかし、編纂委員会のメンバーの必死の追い込みと、いちのことば社様からの変わらぬ助けを得て、多くの方のご協力のもと、完成となりました。皆様のお祈りに御礼申し上げます。何よりも、祈りを聞いてく

ださり完成させてくださった事に心から感謝します。
【お目にかかけよう！】
お手元に届くのはもう少し先になりますので、内容を少しお目にかけてほしいと思います。表紙は、ここから奮い立つ姿勢を明るい色調で表しています。背表紙や裏表紙はお楽しみに。見開き2ページをご覧ください。写真、コラム、資料を随所に配置したので、変化があり、読みやすいレイアウトになっています。最初から読んでいただくのもよし、パラパラとめくって写真だけ眺めてもらうのもよし、興味を引くコラムを読んでいただいても構いません。

【目次を覗いてみます】
章立てとしては、1章から4章までは75年以前となり、75年間を時間的区切りでまとめています。その後は、教区、中央聖書神学校、海外宣教、災害、宣教師の特別寄稿と続き、さらに



本文レイアウトの一例

【皆様のお手元に】
発刊に合わせて「教会・伝道所紹介ページ」(AG Fellowshipに掲載)も公開されます。教団75年史は年内に各教会にお届けする予定です。どうぞ手に取ってご覧ください。

【完璧ではなく完成を】
本文も資料編も幾度も校正を重ねました。原稿を印刷所に送るギリギリまで修正が続きました。それでも手違い、不備、錯誤、不注意を防ぐことができなかった所が多々あるかと思えます。完璧には至りませんでした。しかし、完成して皆様にお届けすることにいたしました。どうぞご海容ください。

は世界における私たちの教団の姿、100周年に向かう教団のあり方などテーマごとにまとめました。
資料編だけでも約100ページに上ります。これまで存在していた全教会の一覧、教団に所属された教職者一覧も含まれています。



日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
教団資料室

資料提供：鈴木 正和